

平成27年 / 2015

No. 26

野口遵顕彰会

野口 遵

顕彰会だより



ごあいさつ

野口遵顕彰会

会長 清本英男

晩秋の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は野口遵顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、今年度の事業は「ジュニア科学スクール」事業を残していずれも計画どおり進めることができました。新たな事業として、野口遵翁の業績と延岡市発展の功績を小学生の皆さんに分かりやすいように“のべおか新興の母 野口遵”のマンガ版を作成して延岡市内の小学校28校に配布しました。

また、野口記念館の開館60周年を記念し、この記念館の命名の由来となっている野口遵翁の「生誕祭」を延岡市と開催しましたが、野口遵翁の功績を多くの市民の皆さんに知ってもらえる良い機会となりました。また、『ジュニア科学者の翼』が15回を終えましたので、第1回から第15回の派遣研修生（173名）に案内して“派遣研修生の集い”を開催しました。出席した研修生、引率の先生から、この事業のすばらしさとこれからも継続して実施して欲しいとの報告がありました。野口遵顕彰会のメイン事業として引き続いて実施してまいります。

もうひとつのメイン事業である『野口賞』授与事業は5件の応募がありましたが、残念ながら今回は『野口賞』は該当がありませんでした。各事業の実施状況の詳細は別紙のとおりです。

「野口遵顕彰会」は、これからも活動の一層の充実・発展に努めてまいります。

今後とも、皆様方の変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成27年11月

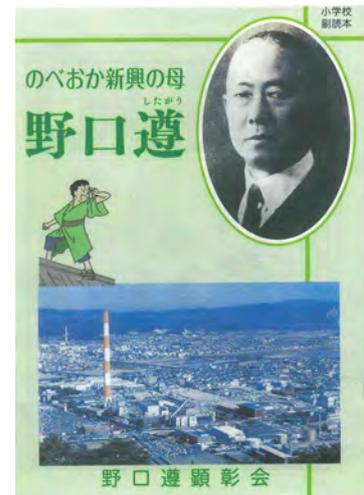
## 副読本縮刷版の配付事業

### 《「のべおか新興の母 野口 遵」》

野口遵翁の科学者として、また、世界的な事業家としての業績や延岡市発展の功績を小学生の皆さんに知ってもらうために、副読本「のべおか新興の母 野口遵」のマンガ版（B5版）を新たに作成して、延岡市内の小学校28校の4年生全員に、計1,250冊を配布しました。

これは、延岡市教育委員会が小学校3・4年生に配布している副読本「わたしたちの郷土延岡市」の中に、“延岡にかかわる偉人”のひとりとして野口遵翁が取り上げられています。小学生の皆さんが学習する際に、野口遵翁をよく理解できて学習効果に役立つよう、分かりやすく親しみやすいようにマンガ風に再編集したものです。

各小学校では朝の読書の時間や総合学習の時間などに、野口遵翁を理解するのに役立っています。なお、今回が初めての配布でしたが、来年以降も続けて4年生全員に配布します。



## 青少年科学技術派遣研修事業

### 《第15回『ジュニア科学者の翼』》



“青少年に科学への夢と希望を育む事業”として毎年夏休みに実施していますが、今年も7月28日（火）から7月31日（金）の3泊4日の日程で実施し、延岡市、日之影町、高千穂町、五ヶ瀬町、門川町の中学校26校から選ばれた12名の皆さんを派遣しました（今回で延173名になる）。

皆さんは関東地区にあります東芝未来科学館、野口研究所、科学技術館および日本科学未来館を訪問して、最先端の科学技術や医療、情報、環境、自然、宇宙等のフロンティア開発、産業など多岐の分野にわたり研修しました。

8月7日（金）の「報告会」では、5つの研修テーマについて研修生それぞれが事前に決めたテーマ別に、パワーポイントを使ってその成果（感想を含めて）発表しました。

＜5つのテーマ＞

- ①物づくりに生かされる科学技術
- ②生活を豊かにする科学技術
- ③地域環境を守り良くする科学技術
- ④人類の夢、未来をつくる科学技術
- ⑤医療の発展に貢献する科学技術

研修に参加した12名の皆さんは最先端の科学技術を学ぶことができたこと、自分の“夢”への意欲がさらに膨らんだこと、コミュニケーション力を高めるよい経験になったこと・・・などその成果を力強く発表し、今回の体験を将来に生かしていきたいと報告しました。

世界的に高いレベルの日本の科学技術や研究者に触れることができたことは、参加した生徒の皆さんの発想を豊かにし、将来の夢、目標の指針として大いに役立ったことと思います。

今回『ジュニア科学者の翼』に参加した皆さんの中から、野口研究所の「学修奨励金」授与者（第11回）に、島野浦中学校2年生 長野真帆さんと三川内中学校2年生 馬場健くんが決まりました。二人には、書籍や教材費の一助として高校入学時から高校在学の3年間、毎年5万円が野口研究所から授与されます。



『ジュニア科学者の翼』に参加した生徒および学校名（男子8名：女子4名）

氏名	学校・学年	氏名	学校・学年
中山朋佳	延岡中学校2年生	矢野皓太	岡富中学校2年生
中田千夏	旭中学校2年生	南太貴	西階中学校2年生
谷真利	南中学校2年生	菊池恭也	東海中学校2年生
長野真帆	島野浦中学校2年生	馬場健	三川内中学校2年生
岩佐塔哉	北川中学校2年生	荒木諒	尚学館中学校2年生
藤元遥哉	門川中学校2年生	橋本将憲	日之影中学校2年生

※引率 中野 敬 延岡市教育委員会 学校教育課指導主事

## < 橋本将憲くんのお母様からのお手紙 >

『ジュニア科学者の翼』に参加させていただき大変お世話になりました。とても“貴重な経験の数々”を息子はもちろん私ども夫婦も感謝の気持ちでいっぱいです。「結団式」に始まり、「報告会」での写真も早々に送っていただきありがとうございました。息子は幼少期から日之影発電所を眺め育ちましたので、何かご縁を感じております。少しでも野口様のようなひと様のために一生懸命“志”を貫き通せる人になってくれると・・今回の学びを通して実感しております。

これまでも同じ思いを抱いておりましたが、何度か会に参加させていただいて、先生方の“次世代を延岡、県北の地にという思い”も肌で感じ取らせていただきました。

### 『ジュニア科学者の翼』派遣研修生の集い

#### 《 第1回～第15回派遣研修生および引率の先生 》

「野口遵顕彰会」設立時より実施している『ジュニア科学者の翼』が今年度で15回が終了しましたが、これまで派遣した研修生全員（173名）および引率の先生に案内して8月23日（日）旭化成向陽クラブにおいて「派遣研修生の集い」を開催しました。これは、研修の成果がその後の進路や考え方などにどう生かされているかを確認するとともに、この『ジュニア科学者の翼』がさらに充実・発展するために意見を聞かせてもらうこと、そして、それぞれの回に参加した皆さんが久しぶりに顔を合わせて友情を深める機会を提供することを目的にしたものです。

当日は、47名の研修生と9名の引率の先生に出席していただきました。皆さんからの感想や意見は次のとおりでした。

(1) 『ジュニア科学者の翼』に参加して良かったかどうか・・については、出席者全員が良かった、プラスになったと回答しています。

- ◆中学生という多感な時期に、同世代の人と一緒に研修したことは、自分の考えや将来を決める上でとても良い経験となった。
- ◆自分の夢を見つける良いきっかけになり、また、夢の幅を広げることができた。自分の抱いている目標が明確になった。
- ◆まったく知らない他の学校の人と友達になれたこと。また、価値観を共有することができた。
- ◆小学校の先生として活躍している参加者のひとは「子供たちに理科を指導する際に、研修の経験が役立っている。」・・と発表しました。

(2) 『ジュニア科学者の翼』についての自由意見

- ◆普段学べないことを詳しく知ることができた。この事業はすばらしい事業だと思う。これからもぜひ是非続けて欲しい。

- ◆もっと多くの皆さんに、この『ジュニア科学者の翼』の研修のすばらしさを知って欲しいと思う。
- ◆自分の進路を自由に選択できる中学2年生のタイミングで、科学技術の知識を知って体験できるのはとても有意義である。



青少年への科学（技術）に対する啓発事業として行っているこの『ジュニア科学者の翼』は全国的にも稀で（他にないと自負している）、文部科学省をはじめ教育機関からも高い評価を得ていること、そして、「野口遵顕彰会」の事業として定着していることから、今後もこの事業を継続していきたい。

## 第15回『野口賞』授与事業

### 《「野口賞」は今回該当なし！！》



第15回『野口賞』に5件の応募がありましたが、選考委員の皆様による慎重かつ厳正な審査の結果、今回は残念ながら『野口賞』の該当はありませんでした。

応募のありました5件は次の通りです。

1. 株式会社 清水製作所宮崎 代表取締役社長 森木 信一 様  
 <応募テーマ>  
 『2.5次元シミュレーション技術を活用した、耐圧・薄肉製品製作用  
 リングプロジェクション溶接の高度化技術開発』
2. 株式会社 アシストユウ 代表取締役 小幡 小百合 様  
 <応募テーマ>  
 『人工知能監視カメラ「モニタリングミックスーA-1」の開発と事業化』

3. 宮崎ひでじビール株式会社 代表取締役 永野 時彦 様  
＜応募テーマ＞ 『S P G膜を利用したビール精密ろ過技術及びビールの開発』
4. やまめの里漁業生産組合 代表者 秋本 治 様  
＜応募テーマ＞ 『海やまめ黄金の卵（黄金イクラ）生産システム』
5. 株式会社 ブルーウィング 代表取締役 森山 喜昭 様  
＜応募テーマ＞ 『ビニールハウス用自動噴霧装置（なからっぼ）の開発と事業化』

## 野口記念館開館60周年記念式典と「野口遵翁生誕祭」

### 《一延岡市と主催して開催一》



昭和30年に旭化成工業株式会社（現旭化成株式会社）が延岡市に寄贈し、延岡市の文化の拠点として市民に親しまれている野口記念館が今年開館60周年を迎えました。これを記念するとともに、命名の由来となった同社の創業者野口遵翁の功績を讃えて、生誕の日である7月26日（日）延岡市と当野口遵頭彰会が主催して開催しました。

当日、野口記念館には約600人の市民が出席して、野口遵翁への感謝を込めて「献花」を行い、同氏の功績を紹介した『パネル展』などを見学しました。



＜写真提供：延岡市＞

## 「野口遵翁とカザレー博士」顕彰祭

### 《 ー未来に語り継ぐ会ー 》

「野口遵翁は大正12年（1923年）、当時鉄道も通っていなかったこの延岡にカザレー式アンモニア合成工場を建設しましたが、その年の10月5日16時30分、日本で初めての合成アンモニアが誕生しました。



野口遵顕彰会ではこの合成アンモニアが誕生した10月5日を、この延岡が近代工業都市への夜明けとなった記念すべき日として、二人の偉大な功績を顕彰してこの「顕彰祭」を毎年開催しています。

今回で7回目の開催となり、50名を超える皆様のご出席を得て盛大に行うことができました。初めに、旭化成向陽クラブ前の野口遵翁の銅像に全員が献花を行った後、向陽クラブで旭化成電子株が生産している“ホール素子”の説明を聞きました。その後懇談に移り、なごやかな雰囲気の中で野口遵翁とカザレー博士の功績を偲びました。

来年以降も引き続きこの「顕彰祭」は開催いたします。

## 第8回『ジュニア科学スクール』

### 《 ペットボトルを使って風力発電機をつくる！！ 》



平成24年から新しい事業として小学校5・6年生を対象に、実験や組立てなどを通して科学技術への関心を高め、楽しみながら学習する機会としてこの事業を実施しています。

今回は、『ペットボトルを使って風力発電機をつくる』をテーマに学校を訪問して実施することを計画しています。

ペットボトルを使って風車をつくり、発電キットを組立てて、それらを組み合わせて風力発電機が完成します。扇風機の風を当てるとこの発電機の風車が回って発電することを確認します。そして、この仕組みや電気について学習します。

12月19日（土）、岡富小学校6年生を最初として、延岡小学校、伊形小学校などを行うことを計画しています。

## ご意見・ご提案について（お願い）

野口顕彰会活動や取組み事業に対するご意見・ご提案をお聞かせください。事業計画や活動に生かしていきたいと思っております。下記事務局までお電話、あるいはFAXにてお気軽にお寄せください。よろしくお願いたします。

## 「賛助会員」募集について（お願い）

野口顕彰会では「賛助会員」を常時募集しています。当顕彰会の趣旨・目的にご賛同下さる皆様のご入会をどうぞよろしくお願いたします。

賛助会費は、（法人）1口 1万円／年間；（個人）1口 1,000円／年間  
※何口でも結構です。

ご入会を希望される方がいらっしゃいましたら、お手数ですが下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

### ●連絡先

## 野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0824  
宮崎県延岡市中央通り3-5-1（延岡商工会議所内）  
TEL (0982) 33-6666  
FAX (0982) 33-6682



## ホームページのお知らせ

ホームページを開設しています。冊子「のべおか新興の母 野口遵」の全文、事業の実施状況などを掲載しています。どうぞアクセスしてみてください。

<ホームページアドレス>

<http://www.wainet.ne.jp/~noguti-k>

